

2024 Vol.2へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW next』及び『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは、
『VIEW next ONLINE』(<https://view-next.benesse.jp/>)でご覧いただけます。

●学校現場では新年度に、教頭を始めとした教員が書面に基づいて様々な報告を行います。それを単なる数字と捉えていたのですが、特集では報告を次につなげるための分析と捉えており、大変興味深く読みました。報告は単なる作業ではなく、せっかくかけた労力を無駄にしないためのもの、という視点をいただきました。(長野県)

●特集では、千葉大学の天笠茂名誉教授による有識者提言が大変勉強になりました。データ分析は教育活動の質向上を焦点化するためにあり、社会に求められる学力の育成を目指すからこそ、そのための動きを地域や保護者などの社会全体で考えていくことが必要です。教育委員会には、学校が元気になる施策を講じていく責任があり、学力データに基づいて施策をつなげることが重要だと感じました。(長崎県)

●特集の長野県飯田市教育委員会が推進する「ムトスの学び」「ムトスの心」は、今の閉塞感を打破するためのキーワードだと感じました。学力調査の結果を丁寧に見える化している点も素晴らしかったです。他の自治体の事例も参考になりましたが、そのように教育行政が切磋琢磨して築いた特色ある取り組みがアセスメントデータの利活用でも重要で、合理的な指針につながると感じました。(徳島県)

●特集の三重県四日市市教育委員会の事例では、全教科で言語能力の育成を図るべく「読解力を育む『20の観点』」を設定し、授業づくりに活用している点が参考になりました。「20の観点」は内容が細かいかもしれませんが、取り組みを進める上では大変有益な手法だと思いました。(富山県)

●特集では、英語4技能検定を活用し、英語の授業改善につなげていた長野県長野市教育委員会の取り組みに興味深く読みました。分析の過程で、学校現場では正確な英文を書くことを求めるあまり、生徒の自己表現力を停滞させていたことが分かって指導を改善したことが紹介されており、

日頃の授業改善につながる視点も得られました。(愛媛県)

●新連載「教育長の視点～その先にあるもの～ダイジェスト」は、ウェブサイトの記事とリンクさせている点に工夫を感じました。ウェブサイトの記事では、3人の教育長を取材した詳しい内容が紹介されており、それぞれ興味深く拝読しました。(東京都)

●連載「教委の新規事業実現までのストーリー」で紹介された大阪府茨木市教育委員会による、非認知能力の育成のために幼・保・小・中で一貫して振り返りの環境を構築する取り組みが勉強になりました。「『茨木っ子力』の4つの力と目指す12の姿」は、非認知能力を細分化しており、子どもの姿を具体的に捉える際にとても分かりやすいものでした。一方で、幼児教育で目指すものと学校教育で目指すものとを整理する必要があると感じました。(千葉県)

●連載「データで教育を読む」の調査結果には、成績下位層は「しかられたくないから」などの他律的な動機づけで学習することが多く、成績上位層は自律的な動機づけで学習していることが示されていました。現状のままではますます二極化が進み、成績下位層の子どもの自己肯定感がより低くなってしまわないかと心配になります。成績下位層の子どもに対しても、学習におけるその子自身の成長を認め、励まし、自律的な動機づけによって学習できるようにしていく必要性を強く感じました。(千葉県)

●連載「教育×シティプロモーション 先進事例紹介」で取り上げられた大阪府池田市は、学力向上を条例に明記していましたが、住民や行政を預かる者の意識の強化が図れる点で効果があると思います。しかし、結果がすぐ見える教育にシフトし過ぎると、長い目で育成すべき力(成果がすぐに表れない力等)の育成が軽視される懸念があるのではないかと感じました。(北海道)

編集後記

今号の特集では、兵庫県神戸市の部活動の地域移行計画を取り上げました。人口約150万人の政令指定都市でなぜ全面移行が必要なのか、その理由は生徒と保護者が部活動に求める多様性にありました。学校が多彩な部活動を提供することには限界があり、現にサッカーでは、様々なタイプの地域クラブに参加する生徒が既に半数に達しているそうです。各自が求める活動の質や雰囲気は異なり、課外活動を個々に楽しむ時代が到来するのだと思いました。(齋藤)

VIEWnext 教育委員会版 2024 Vol.3

2025年3月17日発行/通巻36号

発行人 田村隆憲

編集人 柏木 崇

発行所 株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー
VIEW next 編集部

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-53-6 初台光山ビル

印刷製本 研精堂印刷株式会社

編集協力 有限会社ベンダコ、株式会社オンソノ

撮影協力 岸 隆子、竹内洋平

©Benesse Corporation 2025

※次号の発刊は、2025年6月を予定しています。